

現代日本論演習 / 比較現代日本論研究演習 II

調査的面接の基礎

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 『講義概要』記載情報

到達目標：(1) 面接調査の長所と短所を把握する；(2) 面接調査の実際のプロセスについて、体験を通して習得する

目的・概要：面接法による質的調査の方法についての講義と実習をおこないます。講義では、面接調査の基本的な方法とプロセスについて解説します。実習では、受講者が各自の選んだ研究テーマに沿って文献収集をおこない、面接調査を実施し、その結果をレポートとして提出します。

教科書：松浦均・西口利文 (2008) 『観察法・調査的面接法の進め方』ナカニシヤ出版。

成績評価の方法：授業中の課題 (50%)、調査結果に基づく口頭発表とレポート (50%) を合計して評価する。

その他：5セメスタ / 1学期開講の現代日本論演習 / 比較現代日本論研究演習 II 「質問紙調査の基礎」も履修することが望ましい。

2 授業予定

- 第1講 研究のイメージをつかむ [10/11]
- 第2講 調査的面接の方法 [10/18]
- 第3講 シナリオの作成 [10/25]
- 面接実習 [11/1] 検討 [11/8]
- 第4講 対象者の選びかた [11/22]
- 調査計画について討論 [11/29]
- 第5講 インタビュー実施から書き起こしまで [12/6]
- 第6講 分析 [12/13]
- 第7講 報告書 [12/20]
- 発表会 [1/10] [1/17]
- 第8講 調査的面接の倫理 [1/24]

期末レポート [2/5 提出期限] 返却

3 今日の課題：他者紹介

- 2人ペアをつかって、相手のことを互いに聞き取り、メモを取る。
- 聞き取った内容に基づいて、2分以内で相手を紹介